

ヤンバルトサカヤステの駆除、まん延防止にご協力ください



▲焼津市内で異常発生したヤンバルトサカヤステ

ヤンバルトサカヤステとは？

- ヤンバルトサカヤステは台湾原産の外来生物で、国内では沖縄県、鹿児島県をはじめ四国や本州でも確認されています。県内では静岡市、伊東市、浜松市、伊豆半島の各市町でも分布が確認されています。
- 人や農作物に直接被害を与えることはありませんが、繁殖力が強く、おびただしい数の集団で移動するため、見る人に強い不快感を与えます。
- 体長2.5cm～3cmで、体色は黄褐色～茶褐色です（在来種のヤステは体長2cm以下で、体色は黒褐色）。
- ヤステは、外から刺激を受けるとシアン化合物を含むガスを発生すると言われていいますので、焼いたり熱湯をかけたりするのはやめてください。

ヤンバルトサカヤステの生態 10月～12月が繁殖期

- 卵 → 幼体 → 亜成体 → 成体と成長し、寿命はおおよそ1年～1年半です。
- 繁殖期は10月～12月で、11月～12月頃に交尾し、交尾後約1か月で産卵します。
- 卵は球状、乳白色、直径0.5mmで、一度に150個～350個程度、ぶどうの房状のかたまりで生み出されます。また、孵化率が高く、7日～10日前後で孵化します。
- 集団移動時期は4月～6月及び10月～12月頃です。なお、堆肥等で増殖した個体群はこの時期以外にも集団移動します。
- 湿度の高い雨上がりの夜によく集団で移動すると言われています。
- 繁殖力が強く、広域に定着すると根絶は困難と言われています。

餌となる落葉や日当たりの悪い湿気のある場所を好みます

- ヤステは、餌となる落ち葉などがあるところや、日当たりの悪い湿気のある場所を好んで棲息します。

お問い合わせは
焼津市役所 市民環境部 環境課 環境保全担当
TEL054-626-2153 FAX 054-626-2183

ヤンバルトサカヤステの対策は・・・

駆除方法

- ヤステは薬剤に弱いと言われています。
- 地面に撒く駆除薬剤としては、カーバメート系の薬剤が効果的と言われています。
- 薬剤を使用するときは、近隣の農耕地に薬剤が飛散することのないように、また、河川や用水路に薬剤が入らないように十分注意しましょう。また説明書をよく読んでお使いください。

まん延防止

- 卵や幼体、成体が人為的に運ばれることが、他の地区へ拡散させる最も大きな原因と言われています。生息地域から樹木や農作物の苗などの根付き植物、及び土などを他の地区へ持ち出すことは極力避けるようにしましょう。
- やむを得ず持ち出す場合は、株もと、根回りの土壤にジョロ等を用いて薬剤を十分に注ぎ込みましょう。
- ヤステを川へ流すことも拡散させる原因になります。
- ヤステの処分については、回収しますので、厚いビニール袋や袋を二重にするなど厳重に詰め、口を固く縛って、燃やすごみとしてステーションに出してください。

発生抑制

- ヤステは暗く湿った場所を好んで生息します。ヤステが棲息しにくい環境づくりを、地域で一体となって繰り返し実施することが重要です。
- 自宅の敷地内においても、雑草を刈るなどの清掃をして、できるだけ物を置かないようにしましょう。
- 山際、土手の草刈りや下草刈りを徹底し、日当たりをよくすることで暗く湿った場所をつくらないようにしましょう。
- 側溝は、周辺も含めて清掃を徹底し、ヤステが入り込まないようにして、雨水に流れて他の地域へ移動することを防ぎます。

侵入防止

- ヤステは集団で移動したり、壁をよじ登ったり、家の中へ侵入したりします。
- その一方、表面がツルツルしたところは進むことができないという特徴があります。
- 養生テープ(建築用マスキングテープ)やステンレス板を家の周り(柱や壁など)に貼ることで、家の中への侵入を防ぐことができます。
- 農業用のアゼシートを活用した移動防止柵を山すそ等の隣地との境界に作り、アゼシートの外側(山側)にカーバメート系の薬剤などの駆除剤を撒いておくと、侵入を防ぎ駆除できます。
- 鹿児島県では、地域が一体となってアゼシートを用いた防止策を行ったケースがあります。

※「鹿児島県」「ヤステ」で検索すると防止対策マニュアルが掲載され、上記の対策が紹介されています。